

《週報》

第 11 卷第 24 号

第 24 週(6月13日 ~ 6月19日)

発行年月日:平成23年(2011年) 6月22日

発 行 :滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

腸管出血性大腸菌感染症多発警報を発令(本年度4回目)
咽頭結膜熱(プール熱)の警報発令

一類~五類全数報告感染症の発生状況(第24週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 4名**
- ・三類感染症---**腸管出血性大腸菌感染症 4名** (患者 2名、無症状病原体保有者 2名)
(血清型・毒素型:O157·VT1VT2 2名、O157·VT2 1名、O26·VT1 1名)
- ・四類感染症---**レジオネラ症 1名** (病型:肺炎型、年齢:60歳代)
- ・五類感染症---**アメーバ赤痢 1名** (病型:腸管外アメーバ症、年齢:60歳代)
急性脳炎 1名 (年齢:80歳代)

腸管出血性大腸菌感染症が、3週連続して2名以上発生および1週間に3名以上発生したため、県は「滋賀県腸管出血性大腸菌感染症多発警報発令要領」(平成20年8月18日施行)に基づき、6月17日(金)に本年度第4回目の警報(発令基準およびに該当)を発令しました。

発令期間は、平成23年6月17日(金)から平成23年6月26日(日)までです。なお、腸管出血性大腸菌感染症の発生状況については、今週の発生状況に示すとあります。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

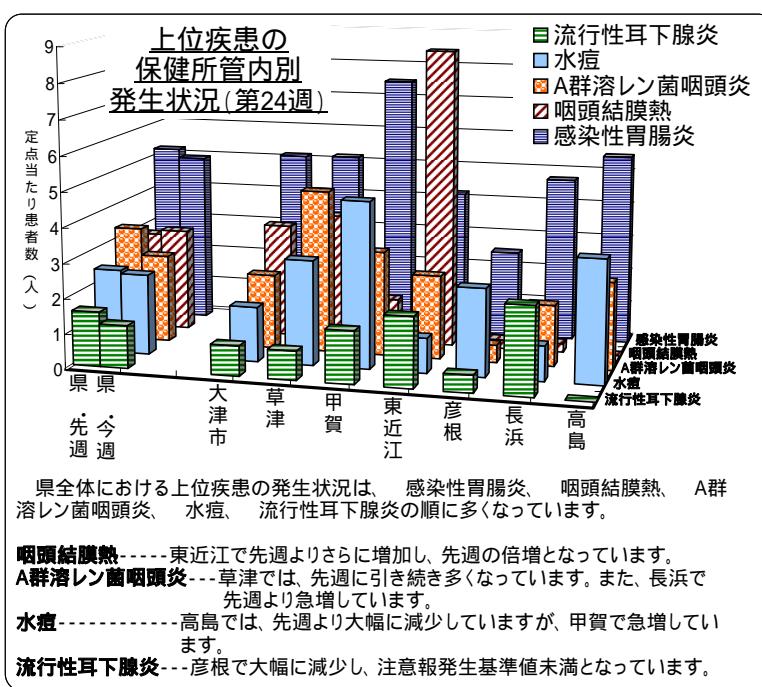
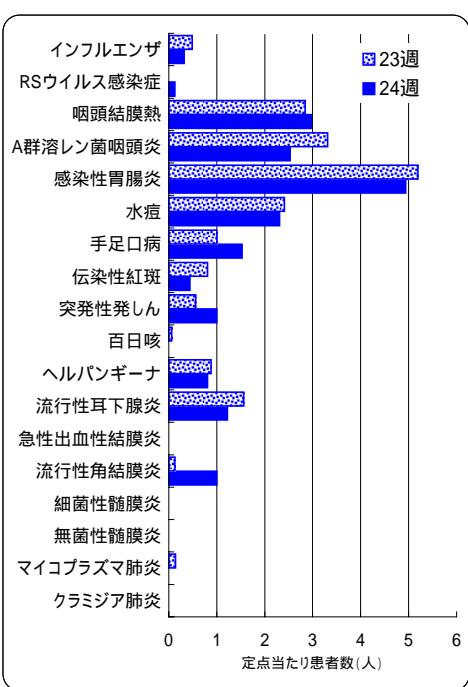
下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(624名)よりやや減少し、今週は597名となっています。今週増加した疾患はRSウイルス感染症、頭結膜熱(プール熱)、手足口病、突発性発しんおよび流行性角結膜炎で、他の大部分の疾患は減少しています(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、咽頭結膜熱については、「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる情報提供要領」における警報発令基準^(*)に該当したため、県は平成23年6月16日(木)に、県内全域に**咽頭結膜熱の警報**を発令しました。

(*) : 警報開始基準値(定点当たり患者数 3.00人)を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとあります。

警 報 --- 咽頭結膜熱(プール熱) (警報開始基準値 3.00、警報終息基準値 1.00)	大津市、草津および東近江保健所管内
手足口病 ヘルパンギーナ	高島保健所管内
注意報 --- 水痘	高島保健所管内 甲賀保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出することになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年累積報告数		平成22年累積報告数 ^{(*)1}		平成21年累積報告数 ^{(*)2}	
		滋賀 (24週)	全国 (^{(*)3} 23週注)	滋賀	全国 (^{(*)3})	滋賀	全国 (^{(*)3})
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	149	12,437	251	26,704	256	26,996
三類感染症	コレラ	0	2	0	10 ^{**}	1	16
	細菌性赤痢	2	85	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	14	786	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	12	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	31	0	66	1	56
	A型肝炎	0	125	3	346	0	115
	オウム病	0	8	1	11	0	21
	つつが虫病	0	114	2	406	0	465
	デング熱	1	40	2	245	0	93
	マラリア	0	26	0	76	0	56
	レジオネラ症	7	239	10	751	8	717
五類感染症	アメーバ赤痢	2	326	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	108	3	222	3	223
	急性脳炎	1	151	0 ^{**}	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	53	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	104	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	2	609	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	0	29	1	80	0	70
	梅毒	3	310	9	621	3	691
	破傷風	1	43	0	106	3	113
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	25	2	121	0	116
	風しん	2	190	5	89	2	147
	麻しん	1	307	1	455	7	732
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^{(*)4}	0	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	7	11	0	59	0	34

* * : 平成22年分の最終確認の結果、急性脳炎(滋賀)1 0、コレラ(全国)11 10に訂正しました。

注：24週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

*1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

*・² 感染症死亡回りの調査結果を示す(国立感染症研究所による感染症情報センター、平成23年4月推定)。
*・³ 全国の累積報告件数は、滋賀県で報告された症例を対象としています。(国立感染症研究感染症情報センター提供資料参照)

* 4 全国の累積報告数は茨城県で報告された疾患を対象としている。⁹ (国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

② 定点把握の対象となる五類感染症の調別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので、(患者報告数=定点担当した患者数)÷(定点数)。

(1) 疾病別・調別発生状況(平成23年第19週～24週 5/9～6/19)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加)						前週と同じ		前週より減少)			
			19週	20週	21週	22週	23週	24週	週					
			5/9~	5/16~	5/23~	5/30~	6/6~	6/13~	20	21	22	23	24	
インフルエンザ	53	インフルエンザ	1.75	0.79	0.36	0.25	0.49	0.32						
小児科	32	RSウイルス感染症	0.03	0.03	0.03	0.06	0	0.13						
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	1.22	1.66	1.28	1.88	2.84	2.97						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.94	2.63	2.78	2.38	3.31	2.53						
		感染性胃腸炎	7.19	7.44	6.41	5.63	5.19	4.94						
		水痘	2.56	2.03	2.75	1.41	2.41	2.31						
		手足口病	0.50	0.81	0.69	0.69	1.00	1.53						
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	1.06	0.59	0.47	0.81	0.44						
		突発性発しん	0.44	0.69	0.44	0.50	0.56	1.00						
		百日咳	0	0	0	0	0.06	0						
		ヘルパンギーナ	0.28	0.44	0.47	0.38	0.88	0.81						
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
		流行性角結膜炎	0.75	1.00	0.63	0.25	0.13	1.00						
		細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
基幹	7	無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
		マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0.29	0.14	0						
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第24週、6/13~6/19)

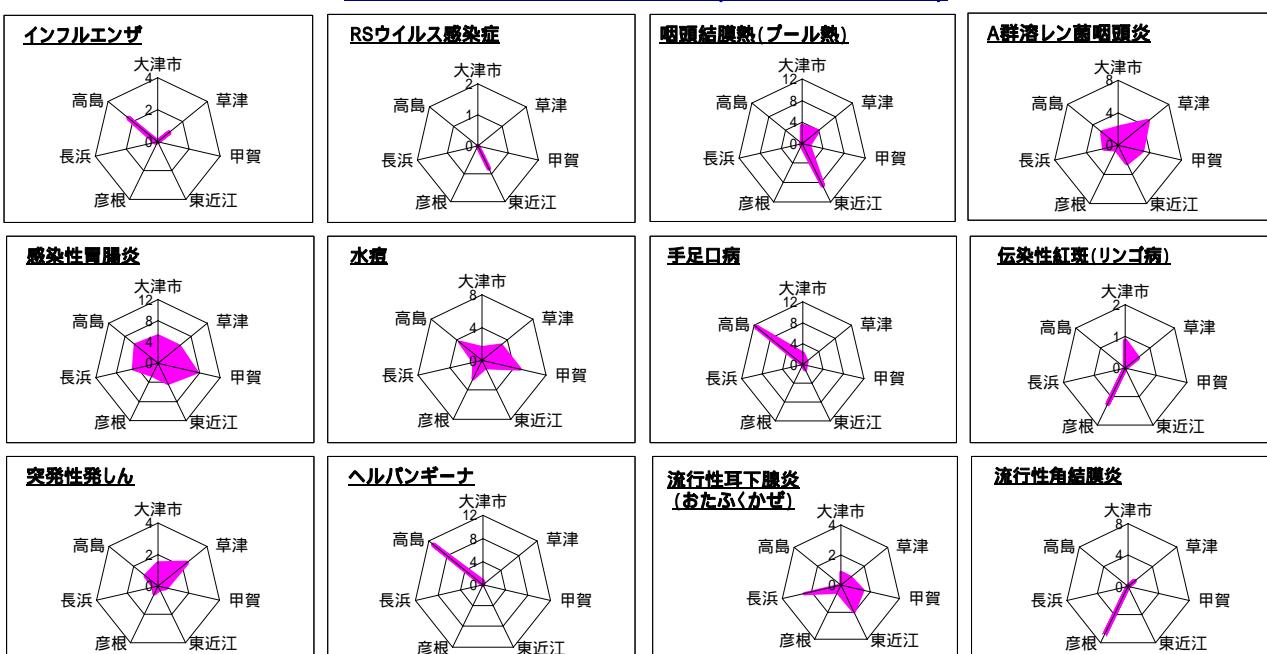
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.32	0	0.90	0	0	0	0.14	2.33	■
RSウイルス感染症	0.13	0	0	0	0.80	0	0	0	■
咽頭結膜熱(ブルー熱)	2.97	3.29	3.67	1.25	8.60	0.25	0.25	0	■■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.53	2.14	4.67	3.00	2.40	0.50	1.75	2.50	■■
感染性胃腸炎	4.94	5.14	5.17	7.50	4.20	2.50	4.75	5.50	■■■■■
水痘	2.31	1.57	3.00	4.75	1.00	2.50	1.00	3.50	■■
手足口病	1.53	2.00	0.83	0.50	1.00	0	0	11.50	■■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.44	0.86	0.50	0	0	1.25	0	0	■
突発性発しん	1.00	1.43	2.33	0.50	0.20	0.50	0.25	1.00	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	0.81	0.57	0	0	0	0	0	11.00	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.22	0.86	0.83	1.50	2.00	0.50	2.50	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性角結膜炎	1.00	0	1.00	0	0	7.00	0	0	■
細菌性髓膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
無菌性髓膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3) 今週の発生状況

<伝染性紅斑(リンゴ病)>

草津および高島保健所管内で先週より減少し、高島では、警報終息基準値(定点当たり患者数1.00)未満となっています。大津市および彦根保健所管内では、先週より微増となっています。

<手足口病>

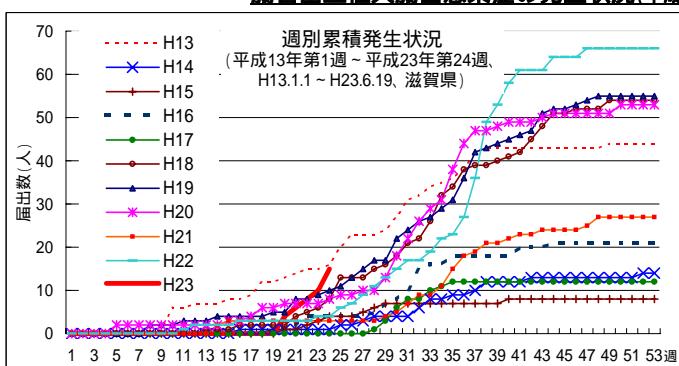
高島保健所管内では、先週よりさらに増加し、非常に多くなっています。高島では19週(5/9~5/15)以降、連続して警報終息基準値(定点当たり患者数2.00)を超えていました。また、県全体の年齢群別発生割合では、1歳および2歳で、全体の65%を占めています。

<流行性角結膜炎>

彦根保健所管内で、先週より大幅に増加しています。

[トップページに戻る](#)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年第1週~平成23年第24週、滋賀県)



平成23年6月19日現在における届出数は14名で、男性7名、女性7名です。診断の類型は患者7名、無症状病原体保有者7名です。

血清型・毒素型

O157·VT1 & VT2 8名、O157·VT2 1名、O26·VT1 4名、O6·VT2 1名です。

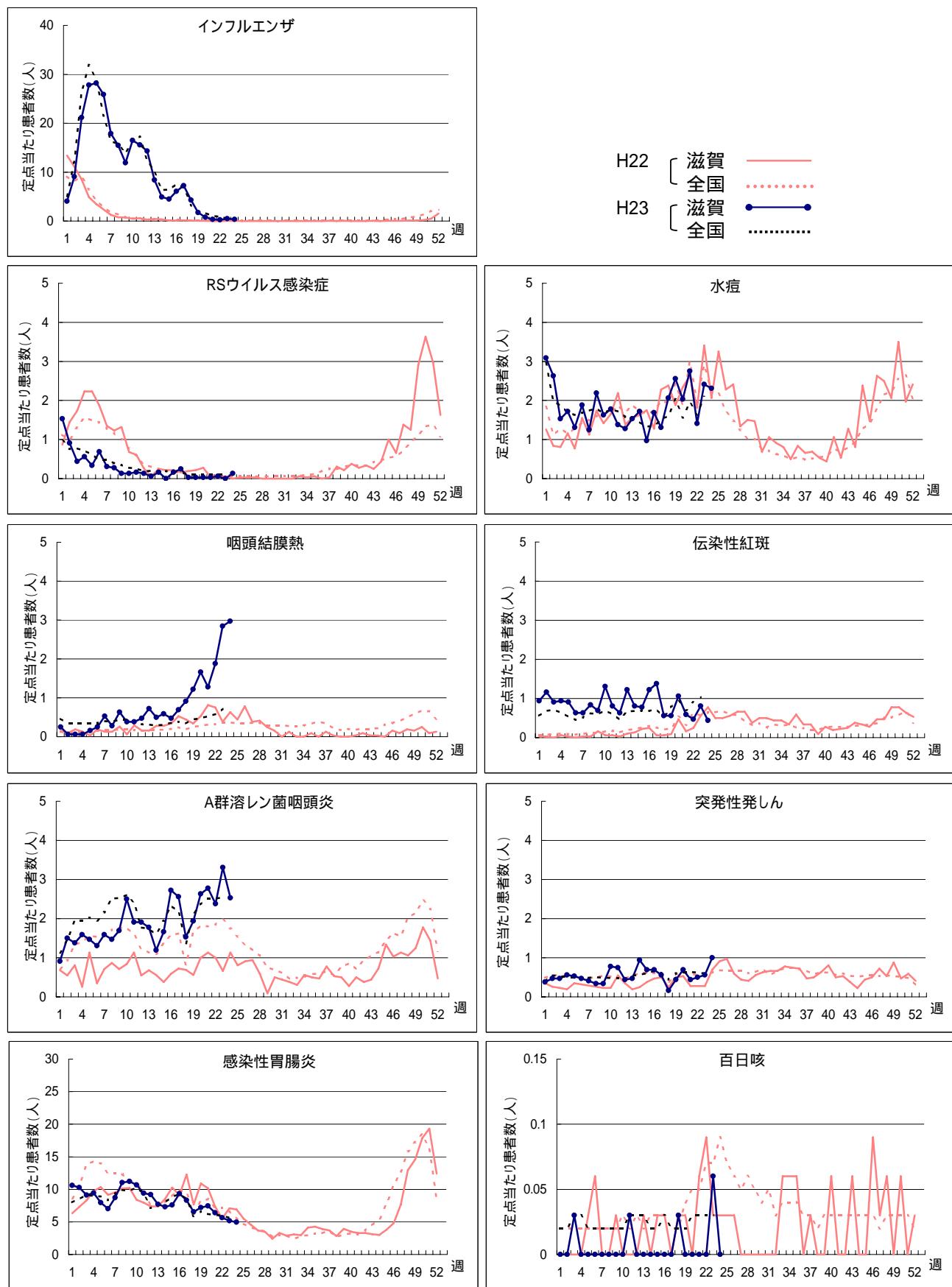
年齢

0~9歳 1名、20~29歳 6名、30~39歳 5名、50~59歳 1名、80歳以上 1名です。

届出保健所管内別

大津市 1名、草津 4名、東近江 6名、彦根 2名、長浜 1名です。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～24週、H23.1.3～H23.6.19)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～24週、H23.1.3～H23.6.19)

